

「日本の秘境」を「世界の秘境」に

小さな観光地の大きな挑戦
～徳島県三好市 大歩危・祖谷～

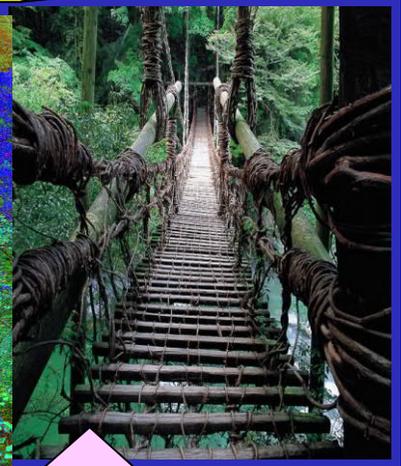
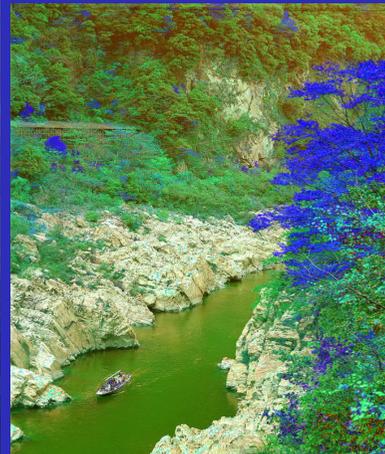
H26.10.8

大歩危・祖谷いってみる会 会長 植田佳宏

「和の宿ホテル祖谷温泉」祖谷溪温泉観光株式会社 代表取締役社長

徳島県三好市「大歩危・祖谷」エリア

H26.9.29所信表明
演説で、安倍総理
大臣が言及



東洋文化研究者アレックス・カー氏は「祖谷」を
「桃源郷のような別世界」と表現
“A world like a Shangri-la”

平家伝説の残る
日本三大秘境
「祖谷」

三好市の現状と課題

- ・過疎化...1960年71,370人→2010年29,951人<58.0%減>
- ・高齢化...38.0%(2010年) ※40.4%(2014.7)
- ・限界集落...156集落(35.1%) ※全国15.5%
- ・面積...四国の市町村で一番広い。森林が9割。
- ・観光の状況
 - ①祖谷のかずら橋渡橋者数 年間 35万人前後
 - ②外国人宿泊客数 年間 5千人弱

急速な人口減少
2010年→2040年13,745人
<54.1%減少>
人口半減以上だが
「消滅自治体」にはならない!

「大歩危・祖谷いってみる会」の活動と成果

「大歩危・祖谷温泉郷」の名の下に、宿泊施設や関連産業の地域事業者が一体となって任意団体を構成し、行政と連携して、地域への入り込みを増やす取り組みを実施。

・設立：H12年10月

・構成員：正会員5社、賛助会員27社（観光施設、タクシー会社、酒造会社等）

《活動》

- ①「大歩危・祖谷温泉郷」という名称を新たに作り、全国に発信
- ②西日本中心の集客から、首都圏への本格的営業へ
- ③インバウンドにいち早く取り組む
- ④官民連携した各種取り組みを推進

《成果》

- 「祖谷のかずら橋」渡橋者数
H12年度287千人→H15年度379千人
その後は35万人前後で推移
- 外国人客の増加
H20年 1,141人→H25年 3,872人
H26年上半期 2,555人 ※年間5千人超見込み



「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」

《観光圏とは》

観光圏整備法(H20年施行)に基づき、地域の幅広い関係者の連携の下、戦略的かつ一体的な観光地域づくりを促進するもの。

「大歩危・祖谷」を含む「にし阿波」は制度発足後、最初の16地区の1つとして認定。更に、H25年度からの新観光圏制度でも、初めての6地区の1つとして認定された(現在は10地区)。

「にし阿波観光圏」
H20年10月認定
計画期間
H20.10～H25.3

平成25年4月、新観光圏に認定!

- 区域:徳島県美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町
- 主たる滞在促進地区:徳島県三好市「大歩危・祖谷地区」
- 事業実施体制:26団体(県・市町・民間団体・民間事業者)
- 計画期間:平成25年4月～平成30年3月

○基本コンセプト

「剣山に代表される山の資源」と「四国三郎・吉野川に代表される川の資源」の恵みが育んだ、独特の歴史文化、伝説伝承、暮らしを基に、他地域との差別化を図り、独自ブランドの確立を目指します。

滞在プログラムの造成



地域と市場をつなぐ中間組織を設立 (旅行業登録したプラットフォーム)



インバウンドの推進

農家民泊(体験型教育旅行)の推進

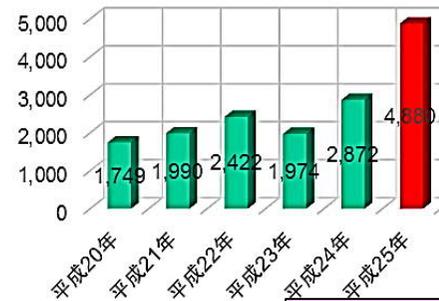
「観光圏」の成果

●外国人宿泊客数

H20年1,749人→H25年4,880人

国別順位: ①香港、②台湾、
③アメリカ、④フランス

約3倍!



●農家民泊など田舎暮らし体験を主とする教育旅行

H20年度4校(977人泊)

→H25年度25校(3,697人泊)

中山間地を活性化!
高齢者も元気に!

●着地型旅行商品の開発・販売

(地域主導型の地域資源を活かすプログラム)

「八合霧ツアー」「奥祖谷めぐり」
など多数

「観光圏」の次の展開

《今後の目標》 国内外から選好される、
国際競争力の高い魅力ある観光地域づくり

地域独自の
「ブランド」の確立



「住んでよし」
の具現化



「日本の顔」となる
観光地域を目指す!

「国際競争力の高い地域」への課題



課題①
過疎化による地元
の担い手不足

課題②
二次交通機関の
不便による旅行の
敬遠

課題③
地域(民間・自治
体)の財政的な限
界

課題④
ゴールデンルート
以外に光が当たっ
ていない

人材不足を補う仕組み
例えば...
IUターン促進のため、民間版の
地域おこし協力隊や緊急雇用制
度の長期化など、使い勝手が良
い、民間が関わりやすく定住につ
ながる仕組み

不利条件を軽
減する工夫
例えば...
地元バス・タクシー
を活用した仕組み
構築を支援

観光圏への直接的な
支援の強化
例えば...
観光圏への国補事業の補助率
アップ、専門家人材の確保支
援による中間組織の強化

広域観光周遊ルート形成と国を
挙げての情報発信
例えば...
テーマ性があり国内外に訴求する際立った
魅力を持つ観光地域や周遊ルートづくり及び
情報発信の支援、都市から地方に行く経費
(航空運賃、本四高速など)負担の軽減措置

「小さくてもきらりと光る地域」を世界に発信！世界から誘客！